

令和5年度環境保健センター機関評価結果

1 運営方針及び重点分野

非常に優れている	優れている	妥当	見直しが必要	全面的見直しが必要
なし	8人	なし	なし	なし

第3次晴れの国おかやま生き生きプランや岡山県環境基本計画（エコビジョン2040）などに沿ったものであり、適切に運営方針及び重点分野を設定して取り組んでいることは評価できる。

また、気候変動適応センターの設置による新たな動きへの対応や、関係機関との協議会も開催し、業務の優先事項を決めるなど、前回の指摘事項にも適切に対応している。

今後、未来への課題を解決する一助となるよう、各専門分野の基礎的な調査研究やワンヘルスへの対策にも関わることも期待される。さらに人員・予算の限られた中で、難易度の高いコンサルティング機能等については、注力する分野の明確化も検討されてはどうか。

地域保健法の改正等により、地方衛生研究所の法的位置づけが明確となったことを踏まえ、保健分野のさらなる拡充を期待したい。

2 組織体制及び人員配置並びに予算配分

非常に優れている	優れている	妥当	見直しが必要	全面的見直しが必要
なし	5人	3人	なし	なし

新型コロナウイルス感染症への対応に追われた中、限られた人材と予算で、効率的・効果的な運用が図られていることについて評価できる。

また、新たに本庁と共同設置した気候変動適応センターへの取組では、今後、センターの特性を生かす工夫をしつつ、他県の情報収集や行政との有機的連携も図りながら、県民への積極的な広報とともに成果に期待したい。

一方で、人事異動等による交代や業務の兼務も多く、引き続きできるだけ予算と人員を確保するよう努めてほしい。

3 施設・システム・機器

非常に優れている	優れている	妥当	見直しが必要	全面的見直しが必要
なし	6人	2人	なし	なし

限られた予算で、既存施設や機器の整備・更新が計画的に行われており、施設・設備が最大限活用されるとともに、長寿命化の努力が見られる。

引き続き、機器類の整備や更新に係る予算確保に努めるとともに、機器の維持管理及び活用が可能な人材育成等に努めていただきたい。

さらに、各種情報システムについては、更新時には、地図情報の共通化や国の同様の

システムへのリンクで対応するなどの方法についても検討願いたい。

4 行政検査、依頼試験、研修指導等の実施状況

非常に優れている	優れている	妥当	見直しが必要	全面的見直しが必要
3人	5人	なし	なし	なし

新型コロナウイルス感染症や昨年度の鳥インフルエンザの行政検査について、限られた人員で着実に実施していることが高く評価できる。

今後、新たな未知の感染症の流行も懸念されることから、職員に過度な負担が及ばないよう配慮しつつ、積極的な研修指導の実施等により信頼性を確保することで、高いパフォーマンスの継続を期待する。

5 研究成果

非常に優れている	優れている	妥当	見直しが必要	全面的見直しが必要
1人	3人	4人	なし	なし

新型コロナウイルス感染症等への対応に追われ、行政検査が優先される中、研究継続を行われた努力は評価に値する。

一方で、年報、他誌掲載論文数が右肩下がりであることは残念である。

学術性の高い研究課題について積極的に他機関との共同研究に取り組む、共同研究先を開拓しセンターでなければできない部分の研究に注力する、職員のモチベーションを高めるために研究成果が職員の評価に繋がる工夫を行う等、引き続き努力を期待したい。

また、成果を県民に分かりやすく伝えるための広報も検討していただきたい。

6 他機関との連携

非常に優れている	優れている	妥当	見直しが必要	全面的見直しが必要
なし	7人	1人	なし	なし

国等が募集する多くの共同研究に参加するとともに、県立の試験研究機関で構成する協議会にも参加するなど、他機関との連携が幅広く、活発に行われていることについて評価できる。

一方で、少しマンネリ化しているようにも見受けられることから、新たな連携機関の検討を行うなど、より精力的に進めることで、幅広い連携を期待したい。

また、人事異動での担当者交代による引継ぎを十分行い、共同研究の相手との協調に支障のないように努めていただきたい。

7 人材育成

非常に優れている	優れている	妥当	見直しが必要	全面的見直しが必要
なし	6人	2人	なし	なし

人事異動が数年で行われるという環境下で、技術の継承や所内の研修会の実施、オンラインでの学会等への参加に努めており、人材育成の取組は適切と考えられる。

次世代に技術を継承する工夫を引き続き期待するとともに、今後も職員のモチベーションの向上や達成感を持ってもらえるよう、適切な人員の配置や育成を行うとともに、時間の使い方や働き方の効率化・効果的な運用が望まれる。

また、独自の研究が行えるような環境を整え、経験値を上げることや、センターで得た経験・技術を持った職員をどのように行政施策に活かすか、検討を行う必要があると考えられる。

8 県民・地域への貢献、情報提供等の実施状況

非常に優れている	優れている	妥当	見直しが必要	全面的見直しが必要
1人	5人	2人	なし	なし

ホームページについてはデザインを更新して見やすく改善されており、県民や関係機関等に伝達・提供しやすく工夫されたと思われる。

また、動画配信などの新しい取組についても評価できる。

今後、ホームページなどに掲げた情報を見てもらう頻度を上げるため、一般人が行うキーワード検索に対するヒット率を上げる方策や、再生数、視聴者層の分析等の閲覧の見える化の検討等を通じた、攻めの発信に期待したい。また、講師派遣や研修指導を積極的に進めていただきたい。

県民との対話を進め、地域のニーズを把握するなど、受け取る側の視点に立った広報に努めるという、双方向の取組にも期待したい。

9 前回評価での指摘事項への対応

非常に優れている	優れている	妥当	見直しが必要	全面的見直しが必要
2人	4人	2人	なし	なし

前回の指摘事項はできる範囲で十分に対応されたと思われる。特に広報の在り方については、県民などの一般向けの広報に力を注いでいただき、具体的な改善策がなされたことは大いに評価される。

今後も、センターの発展を見据えて、有用な提言については検討していただくことを期待する。

一方で、この3年間は新型コロナウイルス感染症という極めて優先順位の高い業務があり、研究成果についての改善は十分ではなかったかもしれないため、今後の3年間に期待したい。

○ 総合評価

非常に優れている	優れている	妥当	見直しが必要	全面的見直しが必要
----------	-------	----	--------	-----------

なし	8人	なし	なし	なし
----	----	----	----	----

限られた人員・予算の中で、また新型コロナウイルスや鳥インフルエンザの流行下で業務が逼迫する中、多岐にわたる業務を効率的に実施している点について評価できる。

引き続き調査技術の継承を着実に行いつつ、今後、所内の横断的な繋がりによる融合的な行政検査等の実施、Web広報のヒット率の向上の改善や、一般人の興味を引く内容とするための工夫、県民ニーズに沿った、場合によっては中長期的な調査研究の実施等により、センターのさらなる発展を期待したい。